

甲南女子大学
ボランティア行動論
第3回
2006年4月27日
担当：田村太郎

人の言葉は善意にとれ。そのほうが5倍も賢い。
(シェークスピア)

本日のねらい

- ・グループごとの追加調査内容をまとめ、発表する準備を行う。



「社会起業家」になりきることで、
事業を組み立てる立場を疑似体験する！

06.4.27

2

本日の進行

- ①グループワーク（発表準備）
- ②別府の社会的起業事例紹介

06.4.27

3

グループ発表の手順（1）

- ・まず、各自で分担して調べてきた追加調査事項（①～⑥）を共有します。
- ・次に、発表する項目をA4用紙1枚に1項目ずつ、書き出します。
 - 用紙を書画カメラ【OHC】でスクリーンに映し出しますので、マジックで大きな字で記入してください。
 - パワーポイントなどを用いて、パソコンで作成しても構いません。

06.4.27

4

グループ発表の手順（2）

- ・発表する項目は次の通りです。
 - ①団体の名称と、活動のテーマ
 - ②設立の経緯
 - ③対象とする課題
 - ④⑤の近年の傾向
 - ⑤目標とする状態（③をどこまで改善するのか？）
 - ⑥具体的な手法
 - ⑦予算規模（収支）
 - ⑧事業に参加しているのはこんな人
 - ⑨他の事例の紹介
- ⑩この団体の「強み」となる特徴的な点

06.4.10

5

グループ発表の手順（3）

- ・項目①～⑨は、これまでの調査を元に、要點を簡潔にして記入してください。
- ・項目⑩は、グループで議論して新たに記入してください。
- ・発表は、1グループにつき10分です。
- ・発表は、自分たちがそのグループの経営者になりきって行います。教室にいる人たちは、起業家を支援してくれる「投資家」と思って、1人でも多くの支援者を獲得するような発表をお願いします。
- ・①～⑩の順番や分類は、あくまでも参考です。書くグループで支援者に理解してもらうために有効と思われる内容と表現で、発表してください。

06.4.27

6

グループ発表の手順（4）

- 発表は、次回から3回に分けて行います。発表順は、本日決定します。決定方法は後ほど解説します。
- 各回で、学生による相互投票を行います。投票の基準は下記の3点です。

- ①共感性：対象とする課題や事業の手法が共感できる事業か？
- ②参加性：多くの人に参加の機会を提供し、笑顔が増えそうか？
- ③変革性：その事業を行うことで、世の中が確かに良くなりそうか？

06.4.27

7

グループ発表の手順（5）

- 投票の方法は次回、詳しく解説します。
- なお、各回でもっとも票を集めたグループには、日常点を5点、グループ全員にプラスします！
- パソコンを使った発表を希望するグループは、発表日の前日、午後6時までに、データを田村宛て送付してください。
- 当日のデータやパソコンの持ち込みによる発表は、円滑な授業の進行を妨げるので、受け付けません。

06.4.27

8

次回までのホームワーク

（1）グループ発表の準備を完成させておくこと。

追加調査が不十分だったり、発表のために必要な情報がなかったグループは、分担して調査を完了させてください。やむを得ず欠席する場合は、他のメンバーにあらかじめ分担した調査内容を伝えておくなど、グループに迷惑がかからないようにしましょう。

（2）今日の授業の様子をブログに報告すること。

毎回交代でレポーターを決め、内容を報告してもらいます。今回は、①グループ発表準備の様子について（進捗状況や追加調査のポイント、調査してみての感想など）、②別府の「ここが感動した！」と「ここがもっと知りたい」、③レポーターの個人的な感想、の3点をコメントとしてアップしてください。

06.4.27

9

本日の提出物

- ①コミュニケーションカード
→ 必ず学生番号と氏名を記入すること

- ②グループカード
→ 発表時の役割分担や再追加調査の役割分担など
今日決まったことと、ブログレポーターについて記入してください。

*①をグループごとにまとめ、②を一番上にして提出してください。

06.4.27

10